



発行所 大熊町公民館  
 電話(大野)65番  
 印刷所 西名清  
 浪江印刷所  
 電話58番

### 新教育委員発令

西名清氏 教育委員長就任

収入役として転出した橋久保茂吉岡郡郎氏、副団長、坂上義雄氏となつた鈴木一雄委員長の後任として次の如く新教育委員が補充発令された。

吉田正雄氏(野上三区)

小泉一郎氏(下野上三区)

尚同日午後一時、初委員会開催の結果、西名清氏が教育委員長委員に就任、暫定的に公民館長を兼ねることになった。

### 大熊町消防団 幹部改選

九月二十三日改選の結果、団長、



### 銃砲刀剣類 発見届出運動

十月一日から十一月三十日まで二ヶ月間

ご存知の通り、銃砲刀剣類は登録又は許可を受けず所持することは、法律で禁止されており、銃砲刀剣類を発見又は拾得した場合はすみやかに警察署へ届け出なければなりません。

重要な美術品の保護  
 発見届出運動

発見届出運動  
 発見届出運動

発見届出運動  
 発見届出運動

発見届出運動  
 発見届出運動

### 共済組合、新陣容で 再建に踏み出す

新組合長に吉田収氏

解散問題で昭和三十三年八月三十一日の総会以来、もみにもんだ共済組合問題は、去る八月十二日、新陣容を整理し、再建に踏み出した。新役員次の通り。

組合長 吉田収

副組合長 志賀英明

理事 吉田収 志賀英明 猪熊明 熊正 池田庄治 飯塚国雄 佐々木等

監事 佐久間忠治 小泉政雄 横川正

### 他人の妻は良く見える 先ず家庭の問題から

野上3区婦人学級の研修

一人工衛星、人工惑星、月ロケット、宇宙ステーション、原子核分裂による人類史上第二の火の発見は宇宙時代へと、めまぐるしく進み続ける。

「私達の物の考え方、物の見方、そして生活態度は果して、これで良いだろうか?」人の世は、とつとつ男と女によって型づくられるものであって見れば、明るい家庭をつくることこそ、すべての基礎ではなからうか。

こうして今年も亦、時代の幸福と云う青い鳥を求めて、野上3区婦人学級の自己研修は挽みなく続けられている。同地区学級の熱心な支持者であり、名助言者でもある、鈴木保蔵さんは語る……。

「私達の家庭を明るくするには、①研修課題 この課題で話し合い学習が今回三回目となる。勿論結論などは出て来ない。

でもお陰様で私自身の家庭が明るくなつて来た事は事実です。そして私自身、話し合いの間にいろいろと教わつて日常の態度や、考え方が変わつて来た事も本当です。

お互の勉強によつて、私達の家庭、私達の部落が本当に明るくなり、お嫁さんに行くなら野上三区だよ、と云われる様になりたい。と話し合っています……。」

### 公民館

8月、9月の本館利用概況

8月①諸会議、研修会等の利用回数(昼夜を合し) 三十一回、即ち日曜日、祭日を含み毎日一回の割合

9月①諸会議、研修会等の利用回数(昼夜を合し) 三十一回、即ち日曜日、祭日を含み毎日一回の割合

②毎日平均出入者数(三十日の平均) 五十六人

③毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

④毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑤毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑥毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑦毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑧毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑨毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑩毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑪毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑫毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑬毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑭毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

⑮毎月平均出入者数(三十一日の平均) 七〇人

### 大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

大野果樹組合集荷場

敬老

寿学級

93年度調査では日本人の平均寿命は男子が六五才、女子が六九才と云う。町内でも七〇才以上の方が、みんな、三五八名(男一四五、女二一三)ほど居られる。

○体力、気力とも元気にしよう。
○最少限度の経済を保持する様にしよう。

○新時代の感覚を身につける様にしよう。
○三つを年度学習の目標に、つぎの学級計画をつくった。

○8月1学級編成、年間計画作製、映画による話し合い、(お母さん)、老人の健康保持について(講話)。老令福祉年金について(お話し)

○9月1敬老会参加
○10月1家庭生活に於ける高令者の果す役割について。

○11月1過去の経験と世情の変化について。(幻燈による話し合い)

○12月1新年度の生活設計について(話し合い)
幼児及び児童の健康と心理について(講話と話し合い)

○1月1青年に何を望むか(話し合い)
レクリエーション

○2月1施達は何を望むか(話し合い)
庭及び盆栽づくりについて

○3月1養鶏について(話し合い)
(両者とも経験発表による話し合い)

レクリエーション
尚、毎回血圧検査を実施して健康の自主的な管理を行うことになった。

8月10日、互せんの結果、次の様に学級長及び副学級長をせん出し、各委員長と共に寿学級実行委員会を結成した。

敬老会

昭和三十四年度敬老会は九月十五日、としよりの日を期して大熊町公民館で盛大に挙行されたが、当日、今年度満八十八才に達した次の人々にお祝の赤座布団が送られた。

中央青年学級
九月二十一日、開講
普通科 三十六名(内女子八名)、専科 十三名、計四十九名。今後真剣な学習を続けるため、三回以上無届け欠席した者は除名の事。等をきめた。



★写真は公民館日本間で大野病院村上医師及看護婦より無料診察及び血圧検査を受ける人々。

大熊町慰霊碑完成

除幕式並びに慰霊祭挙行政。
昨三十三年九月、遺族会より慰霊碑建設について、町長、議長宛に陳情が出されたが、昨年の慰霊祭当日、石田議長はこれが建設について確約の挨拶をした。

町当局は去る三月、三十四年度、当初予算に建設費として三十五万円を計上。満場一致可決を見たので、八月、慰霊碑建設委員会を組織し、双葉町、沢上石材店の手で鋭意建設を急いでいたが、いよいよ完成。去る十月十五日、自衛隊音楽隊員十九名参列のもと、壮麗盛大な除幕式並びに慰霊祭が挙行政された。

波の悪戯

草に宿りし朝露が哀れ愛しき児童の花の蕾を散らしたは土用の波の悪戯か
母に別れし淋しさに田舎の海に雫れしか取残されし父親の心の内ぞ忍ばる、

み、最下段に建設関係者の氏名を刻んだ立派なもの。
日清役以来五十余年、此の間、国家と民族の為に尊い一名を捧げた、「みたま」は大野公園(太子山)上、颯々となる松風の中に郷里の山河を展望して、今後永くその守りとなってくれる事でしょう。

史談会結成

「郷土開発の歴史を科学的に究明し、今後発展へのよりどころを見出すこと、郷土史料の保存を目的として。」去る八月三日、町内有志が公民館に集まり、大熊町史談会を結成した。現在、会員三十四名。

顧問 小畑重、石田真宗、鈴木一雄、根本ハッノ、西名清
会長 齋藤正、半谷隆教
副会長 佐藤義郎、志賀昇、石田悟、吉田収、渡部清
幹事 吉田農夫雄

剣道クラブ

現在クラブ員四名、師範は、教士、谷津田義重、鎌士、井戸川清隆の両先生。毎週火、金の両日、公民館と谷津田道場の二ヶ所に別れて、研修。

敬老会8ミリ映画完成
公民館の手によって撮映した、昭和34年度大熊町敬老会8ミリ映画がいよいよ完成。
近日中に試写会を行った後、各部落に携行して逐次上映する事となった。

編集後記
◇多忙な秋、豊かな実りの秋。編集手も繁忙と、喜びのうちに14号を編集いたしました。
眼前に逼った町議選選挙。一私共町民の良識が反映して時代感覚の豊かな、立派な人々が多数せん出されます様にお願いいたします。